

「第32回国連人口開発委員会」兼「国連人口特別総会準備委員会」出席報告

1. 日時

- (1)第32回人口開発委員会 1999年3月22日(月)～23日(火)
- (2)国連人口特別総会準備委員会 1999年3月24日(水)～4月1日(木)

2. 場所：国連本部（ニューヨーク）

3. 参加国・参加NGO

- (1)第32回国連人口開発委員会・規約通り47カ国.
- (2)国連人口特別総会準備委員会・170カ国以上.
- (3)日本政府代表団：山崎 隆一郎（国連日本政府代表部大使），本田 均（国際社会協力部担当大使），阿藤 誠（国立社会保障・人口問題研究所副所長），西ヶ広 渉（国連日本政府代表部公使），伊藤 秀樹（国連日本政府代表部参事官），武田 康久（厚生省児童家庭局母子保健課課長補佐），栗田 伸一（外務省総合外交政策局地球規模問題課事務官），佐々井 司（国立社会保障・人口問題研究所研究員），下村 憲正（国連日本政府代表部専門調査員），橋口 道代（JICA 計画課課長補佐），中村 治代（JICA ジュニア専門員），顧問としてNGOから北谷 勝秀（2050），原ひろ子（女性と健康ネットワーク）.

4. 第32回人口開発委員会

- (1)カイロ（ICPD）会議で採択された「行動計画」のテーマ別検討
- (2)本年のテーマは「人口増加・構造・分布」
- (3)二つの決議案が採択された.

①人口増加・構造・分布に関する決議案. ②第23回国連人口開発委員会以降の各回検討課題に関する決議案：第23回トピック「人口・ジェンダー・開発」・第24回トピック「リプロダクティブ・ライツ／ヘルス」・第25回以降未定.

5. 国連人口特別総会準備委員会

- (1)準備委員会の組織 議長：A.K. チャウダリー（バングラデシュ），副議長：ブラジル，カナダ，フィンランド，ガーナ，ジャマイカ，日本（山崎大使），ルーマニア，ウガンダ，ハンガリー（ラポトゥール兼任）
- (2)準備委員会の目的：国連人口特別総会（ICPD 行動計画の実施状況に関する評価のための国連特別総会）で採択すべき「ICPD 行動計画の実施促進のための提言報告書」の合意づくり.
- (3)事務局が準備した Proposals for key actions for the further implementation of the Programme of Action of the International Conference on Population and Development.（第1次案）に対して各国から修正・追加要求が出された.
- (4)各国の要求を汲み入れた第2次案（議長案）が提出され，これについて合意案づくりを行った．議長案の全体の構成は以下の通り.

I. 背景

II. 人口開発問題

- A. 人口・貧困・持続可能な開発
- B. 年齢構造変化と高齢化
- C. 国際人口移動
- D. 国内人口移動・人口分布・大都市
- E. 人口・開発・教育

- F. 指標を含むデータ・システム
- III. ジェンダー間の平等・公正, 女性のエンパワーメント
 - A. 女性の人権の促進と保護
 - B. 女性のエンパワーメント
 - C. 施策と政策におけるジェンダー的視点
 - D. 女性の人権に反する態度や慣習を是正するための意識改革
- IV. リプロダクティブ・ライツ／ヘルス
 - A. 家族計画・「性に関する健康」を含むリプロダクティブ・ヘルス
 - B. 質の高い家族計画サービスへのアクセス
 - C. 妊産婦死亡率・罹患率の低下
 - D. HIV/AIDSを含むSTDの防止と治療
 - E. 青年の「性と生殖に関する健康」
- V. パートナーシップと協力
- VI. 資金調達

(5)本準備委員会では、II～IVについて10個のパラグラフを未決着とした以外は合意できたが、I、V～VIについては討議できなかった。

(6)報告書の未決着の部分については、非公式の準備委員会が1999年5月5日～7日に開催され、さらなる合意づくりが進められた。

(7)人口特総は6月30日～7月1日の3日間、ニューヨークの国連本部において開催される。各国代表は“可能な限り高位 (at the highest possible level)”であることが期待されている。

※なお、国連人口特別総会準備委員会の報告書の議長案は、インターネット上で United Nations Commission on Population and Development で入手できる。(阿藤 誠記)

ハーグ国際フォーラム (The Hague International Forum) 出席報告

I. 会議の日程・参加者

- (1)1999年2月8日(月)～12日(金)・オランダ国際会議センター (Netherlands Congress Center)
- (2)参加者：177カ国, 国連組織, 国連専門機関 (WHO, ILO, IMF, WB, IAO, UNDSO), 国連地域組織, 政府間組織の各代表。
- (3)日本政府代表団：池田 維 (オランダ大使) (代表), 赤坂 清隆 (外務省総合外交政策局国際社会協力部審議官), 阿藤 誠 (国立社会保障・人口問題研究所), 栗田 伸一 (外務省総合外交政策局国際社会協力部地球規模問題課事務官), 北谷 勝秀 (2050), 原 ひろ子 (女性と健康ネットワーク)

II. 会議の目的・経過

- (1)1999年6月30日～7月2日に行われる国連人口特別総会 (ICPD 行動計画の実施状況に関する評価のための国連特別総会) に向けての、国際人口開発会議 (ICPD: 通称カイロ会議) の行動計画の実施状況の5年目の点検活動の一環。
- (2) [ICPD+5] の点検活動には、①3つのラウンド・テーブル・ミーティング：(a)若者のリプロ・